

## 多摩北部医療センター職員の新型コロナウイルス感染について

この度、公益財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター（以下「病院」という。）に勤務する看護師が、新型コロナウイルスに感染したことが判明しましたので、御報告いたします。

なお、病院は11月22日に小児科の診療体制の縮小について報道発表させていただきましたが、今回の感染確認による新たな診療体制の変更はありません。

### 1 当該職員の基本情報

年代：40代  
性別：女性  
職種：看護師（常勤・病棟勤務）  
居住地：都内

### 2 経過

- 11月19日（木曜日）  
勤務日（日勤）
- 11月20日（金曜日）  
勤務日（夜勤）
- 11月21日（土曜日）【発症日】  
夜勤明け。帰宅後、体の痛みが出現
- 11月22日（日曜日）  
非勤務日。発熱
- 11月23日（月曜日）  
非勤務日。解熱し、症状消失
- 11月24日（火曜日）  
非勤務日
- 11月25日（水曜日）  
体調不良のため、PCR検査を実施。「陽性」が判明

<問合せ先>

公益財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター  
庶務課 中田、阿部 電話 042-306-3105（直通）

公益財団法人東京都保健医療公社事務局

総務課 小俣、内海 電話 03-5577-2133

【裏面に続く】

### 3 現在判明している事実

- ・ 当該職員は、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病棟で勤務していた。
- ・ 勤務中は常時マスクを着用し、手指消毒を行うなどの標準予防策を実施していた。  
また、新型コロナウイルス感染症患者と接する際にはガウン等の個人防護具を適切に着用し、定められた手順を遵守していた。
- ・ 所管保健所の助言を踏まえ、発症日の2日前である11月19日以降の当該職員との接触者を調査したところ、当該職員と接触があった者は、患者3名（いずれの方も新型コロナウイルス感染症の疑いがあり当該病棟に入院していたが、その後のPCR検査で陰性が判明し、現在一般病棟に入院中）、患者関係者2名及び職員24名の合計29名であった。
- ・ このうち、所管保健所から濃厚接触者に該当すると判断された者はいない。
- ・ 当該職員と11月22日に報道発表した患者との接触はなかった。
- ・ 当該職員と接触があった患者や患者関係者、職員に、感染を疑わせる咳・発熱等の症状は認められない。

### 4 病院の対応

- (1) 当該職員と接触があった患者3名及び患者関係者2名に対して、当該職員が新型コロナウイルスに感染したことを個別に説明し、現在、発熱・咳等の症状がないことを確認した。
- (2) 患者3名及び職員24名は、保健所の指導・助言を踏まえ、引き続き健康観察を行っている。
- (3) 患者関係者に対しては外出自粛と健康観察をお願いするとともに、症状が生じた場合は、病院まで連絡するよう伝えた。
- (4) 当該職員が業務を行っていた病棟や動線等は、11月25日に消毒を実施した。
- (5) マスク着用や手指衛生などの標準予防策を徹底するとともに、感染管理担当（ICT）による巡回点検を引き続き実施する。

### 5 今後の診療について

当該職員と接触のあった患者、患者関係者、職員に症状を訴える者は現在出ていないこと、当院ではマスクの着用や手指衛生などの標準的な院内感染対策を適切に行っていることから、所管の保健所の指導・助言を踏まえ、現在実施している小児科の診療制限を除いては、外来・入院とも通常診療をこれまでどおり継続する。